

第9回山梨県老施協研究総会 演題発表 抄録の記入の仕方・注意点

1. 記入全般について

- ・文字は、**MS Pゴシック・11ポイント**で、枠内におさまるように記入してください。ただし、スペースが足りない場合には、10ポイントまで文字サイズを下げてください。
- ・**記入枠の大きさは変更しないでください。**
- ・主題・副題は中央に記入。その他は、全て左寄せで記入してください。
- ・誤字、脱字には十分ご注意ください。
- ・**下線、斜体、太字、囲み文字、**背景色等は使用しないでください。
- ・箇条書きの文頭は「・」で始めてください。(「●」「■」「◇」「○」「◎」等は使用しない)
- ・「♪」「☆」「★」「!」「?」「→」「…」「～」等の記号は使用しないでください。(全て文章で表現し、必要な個所に句読点(「。」、「、」をつける)
- ・表やグラフは入れないでください。(全て文章で表現する。※発表当日のパワーポイントには、図表を入れることができます)
- ・文章の始まりは1文字空けてください。(箇条書き、見出しを除く。[事業所紹介]枠内を含む。)
- ・**その他記載内容については抄録様式データのコメントを参照してください。**

2. 主題、副題について※必須

- ・固有名詞を強調したい場合は「」で囲んでください。
例: 施設同士の定期的な人事交流「交福会」を通じた人材育成の効果について

3. キーワードについて※必須

- ・主題、副題に含まれる文言を使用してください。

例: 主題 施設同士の定期的な人事交流「交福会」を通じた人材育成の効果について

副題 交流が生む職場環境の向上

キーワードを「人材育成」のみとする場合、**キーワード1 人材育成** **キーワード2 なし** と記入してください。

「キーワード1」の記入は必須となります。

「キーワード2」は、該当するものがある場合のみ記入してください。

4. 研究(実践)期間について※必須

取り組みを行った期間を**月数で記入してください**。(誤:1年 → 正:12ヶ月)

期間は、課題として取り組みを行うことを計画した時から、発表に至る**一定の結果が得られた時まで**とします。取り組みが継続中の場合も、抄録提出時までの期間を記入してください。

5. 法人名、施設名について

法人名の後に全角スペースを入れ、事業所名を記入してください。

例: 社会福祉法人山梨県老施協 特別養護老人ホーム山梨園

6. 発表者・共同研究者について

・発表者(職種)

①氏名を全角で記入し、職種を()で囲んで記入してください。

例: 姓が山梨、名が福男、職種が看護師の場合、**山梨福男(看護師)**と記入する。

②姓と名の間にスペースは入れないでください。

③役職者の場合は、その呼称を職種として記載してください。

(例: 介護主任、フロアリーダー、看護師長、施設長)

④介護士、ケアワーカー、ケアスタッフ等は、「介護職員」と記入してください。

⑤2名以上の時は、間に「、」を挟んで記載してください。

例: **山梨福男(介護職員)、山梨福子(介護職員)**

・共同研究(実践)者

※基本は(4)発表者(職種)と同様

①2名まで記入可。3名以上いる場合は、2人目の氏名(職種)のあとに「、他」と記入してください。

②業者等と共同で実施した研究の場合も、業者名・担当者名は記入しないでください。

③該当者がいない場合は、「なし」と記載してください。

7. 事業所概要について

所在地、施設概要(開設年月日、定員数など)、実施サービスや特徴について記入してください。

8. 取り組み前の状況と課題について

* 取り組みに当たる時点での問題提起の部分です。

なぜこの研究(実践)をすることになったのか、その時の状況や、きっかけとなった出来事、発生していた課題等を具体的に記入してください。

具体的に記入することで、聴者の興味を引き共感を得ることができます。

例: ○○のような状況があり、ご本人やご家族からの要望などがあった。

○○のような状況があり、事業所としての課題であった。

9. 取り組みの目的ならびに仮説について

* 研究(実践)の当初の目標設定の部分です。

研究(実践)前と比較し、どのような状況変化、改善があると考えたのか、または、成果として期待したこと等を具体的に記入してください。

仮説は、「期待する成果」と捉えて構いません。

例: ○○のように改善(変化)することを期待して、△△に取り組んだ。

10. 具体的な取り組みの内容について

* 取り組んだ内容と経過を具体的に表す部分です。

記入の仕方に指定はありませんが、次の点を盛り込むとわかりやすくなります。

① 対象者又はグループ(施設)

なお、個人(利用者)に関する事例の発表の場合は、名前はイニシャル、年齢・性別・介護度・既往歴・服用している薬、必要があれば、関わった職種、障害の状況、家族情報等を記載してください。

また、グループや施設全体での取り組みの発表については対象グループの定員数や関わった職種の人数等がわかるように記載してください。

② 取り組みの具体的な手法

③ 取り組み時間や期間

④ 取り組みの手順

⑤ 取り組んだ職員数や構成

⑥ 部署間の連携

⑦ 使用した道具や費用

⑧ 活動の成果を出すポイントになった点

⑨ 取り組みに対する施設のバックアップ体制

特に費用や時間は、他の方が取り組む際の参考になるため、積極的に記入してください。このほか、「課題や項目に分けて記入する」「時系列で記入する」ことで経過が追いやさく、読んで解りやすい抄録になります。

11. 取り組みの結果と評価について

* 具体的な取り組みによって得られた結果を記入する部分です。

数値化できるものは、できるだけ具体的な数値を記入してください。

また、ご利用者の反応や他者からの評価等も積極的に記入してください。

12. 考察、まとめ、今後の課題について

* 結果から考えたことや、取り組みのまとめを記入してください。

また、今後どのように取り組みを行っていくかを記載してください。

13. 倫理的配慮について **※必須**

本大会において研究(実践)発表を行う際には、「倫理的配慮」に基づくこと、つまり人権尊重や個人情報保護、著作権等への配慮が求められます。発表における倫理的配慮を明らかにするため、抄録内において **下記の例を参考に、倫理的配慮に関する一文を記述してください。**

【倫理的配慮に関する一文の例】

なお、本研究(実践)発表を行うにあたり、ご本人(ご家族)に口頭にて確認をし、本研究(実践)以外では使用をしないこと、それにより不利益を被ることはないことを説明し、回答をもって同意を得たこととした。

14. 参考文献について

研究(実践)が適切な理論・根拠に基づいて行われているという証明だけでなく、他事業所などが研究(実践)を参考にする上での参照事項になります。

そのため、引用文献や参考文献は、著書や論文名などを正確に記入してください。

参考文献がない場合は、「特になし」と記載していただいてもかまいませんが、なるべく先行類似研究や基礎データを取り上げるようにしてください。

記入の際の順番⇒

書籍の場合:「書籍名」(発行年)著者名、出版社

論文の場合:著者名、(発行年)「論文名」、誌名

ウェブサイト閲覧した場合:参照したページのタイトル(ページの発行元)、URL(閲覧日)

例:【書籍の場合】

「山梨のケア学」(2017)、山梨福子、山梨書院

【論文の場合】

山梨福子(2017)「介護現場による実践研究がもたらす効果について」

山梨ケア学会誌第9巻第1号 p10-11

【ウェブサイトの場合】

平成 28 年版厚生労働白書 ー人口高齢化を乗り越える社会モデルを考えるー(本文)(厚生労働省)<http://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/kousei/16/>

15. 提案と発信について **※必須**

* 福祉業界の現場からの意見発信を行う部分です。

貴事業所の取り組みを広く他の事業所に紹介し、福祉業界全体のレベルアップに繋げることができれば、大変意味のある発表になります。

そのため、研究(実践)を通しての、福祉業界への提案、他の事業所への呼びかけ等、貴事業所からの情報発信を必ず記入してください。

ただし、自施設のPR等、研究(実践)から外れるような内容の記入は控えてください。

16. 抄録の公開について

作成いただいた抄録は、当日資料として参加者に配布されます。記入にあたっては、公開されることを念頭に置いた配慮をお願いいたします。